



# 故郷ふるさと

兎追うさぎおいし かの山やま

小鮒こぶなつ釣りし かの川かわ

夢ゆめは今いまも めぐりて

忘れわすがたき 故郷ふるさと

如何いかにいます 父母ちちはは

恙つつがなしや 友ともがき

雨あめに風かぜに つけても

思おもいづる 故郷ふるさと

作詞さくし  
作曲さつきょく

高野たかの辰之たつゆき  
岡野おかの貞一ていいち



●1914年(大正3年)「尋常小学唱歌第六学年用」発表。  
遠く離れたふるさとの風景や両親の姿、懐かしい友の顔などが思い浮かび、忙しかった一日を忘れることができそうです。「忘れがたき故郷」「思いづる故郷」は、とくに心を込めて読んでください。